福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社九州緑化産業
代表者名	坪井 真二
所在地	福岡市東区下原 4 丁目 16 番 36 号
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	建設業
電話番号	092-682-0231
ホームページ	https://kyuryoku.co.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	従業員の仕事や働き方の選択肢を増やせるよう、テレワークの環境整備や時差出勤制度を導入し、柔軟な働き方を促進している。 またノー残業デーを設け、従業員の充実したプライベートの環境整備に取り組んでいる。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート　　事業者名：株式会社 九州緑化産業

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・女性の管理職登用および技術職員採用を行っている。 ・外国人技能実習生(ネパール国から)の受け入れによる国際貢献を実施している。 ・中高年を積極的に採用している。 ・年齢や身体の状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場づくりを促進している。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・現場への週休2日制を導入している。 ・36協定の締結と経営方針、就業規則の周知。 ・完全週休二日制の導入を検討している。(R5.10以降) ・現場事務所の通信環境等を整備し、テレワークを推進している。 ・治療や介護、子育てと仕事の両立を支援する制度を導入している。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・定例の管理職会議、職員全体会議でのハラスメント防止に関する研修指導を行っている。 ・管理部門にハラスメントに関する相談窓口を開設予定。(R5.5現在)					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・長時間労働を是正するための具体的な取り組みを行っている。 ・法定健康診断の実施、従業員の健康状態については各上長が日々面談の上把握している。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・資格手当を設けて、必要な資格取得を推進している。 ・資格取得のため技術部門では、勉強会および社外講習会への派遣を行っている。 ・外部から講師を招き、研修会を開催している。				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・工事で発生する産業廃棄物は、安定5品目とそれ以外、特別管理産業廃棄物など種類を把握管理し、適正な処理処分業者に委託処理処分する。 ・その際、伐採除草等の植物系廃棄物はバイオマス発電のエネルギーとして収集運搬する処理業者を選定し契約する。 ・廃棄物は3Rの基本原則を遵守し、分別して処理処分す			○			○					○	○		○				
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・現在、職員の通勤車および現場で使用しているガソリン仕様車の電気ハイブリット仕様車への転換でCO2排出抑制を図る。 ・現場使用の重機および機械類は、低燃費および排出ガス抑制仕様など環境負荷の少ない機器を選定する。 ・壁面緑化を実施している。 ・LED照明を導入している。							○					○	○					
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・のり面保護工事では、現地発生土等を緑化基盤材として再利用する工法を実施している。 ・造園工事等では、松枯れ対策、除草シートによる除草剤低減を実施して自然環境および生活環境保全を図っている。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけや、掲示物で意識を高める。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・弊社の主たる造園工事やのり面防保護工事では、使用材料の耐用年数、強度基準等を自主検査での品質保証により担保する。 ・所属する関係学協会の講習講演会に職員を派遣し最新技術の習得研鑽する。 ・造園事業に関する福岡大学との共同研究を行っている。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・自社の事業がどのような社会課題の解決に繋がるかを意識して事業を推進している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・情報システムへのアクセスに制限を設け、特定の者のみアクセスできる仕組みを整備。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守の重要性を社員に発信している。 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組み・ルールを整備している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営者が理念を持ち、適時、経営理念・経営目標を社員に説明し、共有している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。									○		○		○			○	